

心の復興音楽基金 2018 年度後期  
ピティナ学校クラスコンサート 事業報告書

平成 31 年 1 月 11 日  
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会  
学校クラスコンサート担当：川野辺 雪菜

◆事業概要

事業名：ピティナ学校クラスコンサート  
主催：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会  
実施日：2018 年 12 月 5 日（水）  
実施校：南三陸町立志津川小学校  
対象学級：5 年生 40 名  
出演者：菅原 望（ピアノ／当協会演奏会員）  
          武内 園子（鍵盤ハーモニカ・クラリネット／当協会正会員）  
調律師：小田島 智（当協会調律会員）  
取材：川野辺 雪菜（当協会本部事務局スタッフ）

◆プログラム

ネッケ／クシコスポスト  
スカルラッティ／ソナタ  
ベートーヴェン／エリーゼのために  
ショパン／革命のエチュード  
S.ライヒ／クラッピング・ミュージック  
エルガー／威風堂々

◆会場の環境

南三陸町立志津川小学校は、かつて全校生徒が 800 人以上の学校でしたが、震災の影響で人口の多くが流出してしまい、現在は 200 名規模まで減ってしまっています。生徒の約 7 割が津波で家を流され、住環境の変化から現在ほとんどの児童が徒歩圏内でなくスクールバスで通っています。バスの最終便が早いため、児童が放課後のクラブ活動をする事ができない環境です。しかし、もともと南三陸町は音楽が盛んな学校が多く、クラブ活動ができない中でも志津川小学校で唯一残っている部活動が吹奏楽部。学校楽器の数は市民か

らの寄付で充実しており、ピアノもアップライト含めると校内に4台設置されています。2011年に同基金の助成を受けてコンサートを開催した「ホテル観洋」の阿部寛子氏が、こうした背景の小学校なら学校クラスコンサートのような企画の需要があるのではないかと齋藤明校長に当事業をご紹介くださり、実施に至りました。

#### ◆当日の内容

当日の進行は音楽の授業ふうに、バロック／クラシック／ロマンの順に時代を紹介しながら1曲ずつ菅原先生が弾き武内先生が解説する形で進行しました。児童たちはとてもきちんと教育されていて、教室に入ってくる時は「失礼のないように」と思っていたのか、少し緊張気味の雰囲気の中で授業が始まりました。しかし、菅原先生が場を和ませようと用意した導入の「クシコスポスト」が勢いよく始まると、「あ、運動会！」と声が上がって、最後の音を弾いたときには既に子どもたちもわくわくを抑えられない様子でした。

導入のあとのスカルラッティは、「バロック音楽はとてもシンプルな音楽」というのを体感してもらうための一曲。「一度に鳴る音は最大何個でしょうか？」というクイズで、児童をピアノの周りに集めて手元を見てもらいながら演奏されました。ピアノの近くに集まった子どもたちは、先生の手元やハンマーを覗き込もうと全員興味津々で見っていました。



続くベートーヴェンは、「テーマのある音楽」を代表して「エリーゼのために」の演奏。「ミレミレシレドラのテーマが何回出てくるのでしょうか？」というクイズに答えるために、生徒全員が指折り数えて真剣な表情で聴いていました。

ショパンの「革命のエチュード」では、再びピアノの周りに集まって、近距離でプロの演奏を体感してもらいましたが、プロのピアニストの本気の演奏に子どもたちも見学の保護者も圧倒された様子。素早く動く指の動きや $ff$ の音圧には始終「すごい！」とざわめきがあふれ、中には一生懸命プログラムの紙にメモを取っている児童も見られました。



後半は児童も参加できるプログラムで構成。ライヒの「クラッピングミュージック」は、1グループが同じパターンのリズムを繰り返して打つ中で、もう1グループがそのパターンを8分音符一つずつずらして打ち、つられないように繰り返して絶え間ないリズム音楽

を刻む作品です。武内先生と菅原先生が各グループの手拍子をリードして、2グループで一つのリズムを刻むアンサンブル体験をした児童たちは、初めての手拍子合奏を楽しんでいました。

最後は有名なエルガーの「威風堂々」に武内先生が鍵盤ハーモニカとクラリネットを持ち替えながらジョイントし、児童が手拍子で参加。そして学校からのリクエストで、生徒たちが授業で練習している「海の声」を先生たちの伴奏で合唱して全プログラムが終了しました。数名の児童が感想を発表してくれ、授業終了後も先生2人を名残惜しそうに取り囲んでお話をしていました。

後日届いた校長先生からの手紙には、「10月の学芸会で合奏・合唱・ダンスなどで様々な表現を学んで音楽に対する意欲が高まってきていると感じていましたが、学校クラスコンサートでさらに意欲を高めていました」と書いていただきました。児童たちの感想文からも、普段なかなか触れる機会のないプロの演奏に、様々な刺激を受けてくれたことが読み取れました。



#### ◆経費

(1) 旅費交通費：26760 円

菅原 望：卸町⇄仙台駅⇄石巻駅 2180 円

武内 園子：3000 円（ガソリン代手当）

川野辺 雪菜：巣鴨駅⇄仙台駅 21580 円

(2) 調律費：20000 円

※調律師の交通費含む

**合計金額：(1) + (2) = 46760 円**

(申請金額：53060 円)

以 上